

広島県安芸太田町におけるシロマダラの初記録

木原 利則¹・白川 勝信^{2*}・上野 吉雄³・南葉 鍊志郎⁴・本宮 芳太郎⁵

¹山県郡安芸太田町穴・²芸北 高原の自然館・³認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会・
⁴広島大学大学院統合生命科学研究科・⁵広島県立加計高等学校

First record of *Lycodon orientalis* in Akiota town, Hiroshima Prefecture

Toshinori KIHARA・Katsunobu SHIRAKAWA・Yoshio UENO・Renshiro NANBA and Yoshitaro HONGU

報告

シロマダラ *Lycodon orientalis* は北海道・本州・四国・九州・伊豆諸島に分布する日本固有種である。夜行性であるため目撃例が少なく、しばしば各地で「幻のヘビ」などと報道されてきた。広島県でも広く分布しており、呉市、広島市、安芸高田市、江田島市、庄原市、三次市、東広島市、廿日市市、大崎上島町、北広島町に記録がある（広島県 2012）。レッドデータブック広島第 3 版では要注意種に選定されていた（広島県 2012）。レッドデータブックひろしま第 4 版では、生息地や確認個体が増え、県内に広く生息しているとの判断から選外とされた（広島県 2022）。安芸太田町ではこれまでに目撃談はあったものの、記録が無かった。

2022 年 7 月 23 日 20 時に安芸太田町柴木（34°35'56"E, 132°12'42"N, 標高 330 m）の柴木川沿いの道路上で体長約 30cm の成蛇を捕獲した。その後、約 1 か月飼育観察した後、放追した。飼育下ではトノサマガエル *Pelophylax nigromaculatus* などのカエル類を捕食した。

2022 年 9 月 4 日夜に、加計町穴、木原宅の納屋において、体長 30cm の生体 1 個体を捕獲した。捕獲した個体は翌日の日中に写真を撮影した後、放追した。

広島県内におけるシロマダラの記録について助言をいただいた内藤順一氏に謝意を表す。

引用文献

- 広島県（2012）広島県の絶滅のおそれのある野生生物（第 3 版）—レッドデータブックひろしま 2011—。633pp. 広島
- 広島県（2022）広島県の絶滅のおそれのある野生生物（第 4 版）—レッドデータブックひろしま 2021—。763pp. 広島



A : 柴木川沿いの成蛇 (2022 年 7 月 23 日撮影)
B : 素早く這うシロマダラ (2022 年 9 月 5 日撮影)
C : 鎌首を持ち上げたまま這うシロマダラ (2022 年 9 月 5 日撮影)